

アクションプラン（赤塚探検隊） 保護者向けアンケートまとめ

全員で5名からの回答をいただいています。

質問① 普段、どの程度赤塚溜池公園や赤塚植物園に来ていますか？

週に数回	0人
月に数回	1人

年に数回	4人
初めて来た	0人

質問② 今回イベントに参加していただいたことで、来る機会は増えそうですか？

また、選択肢を選んだ理由をご記入ください。

増えそう	2人
変わらない	3人

減りそう	0人
------	----

選んだ理由

- ・家から近ければ来る機会がもう少し増えると思うが、頻度的には変わらないと思う。ただ、子どもにとってはイベントに参加して色々な体験をしたことで、赤塚を身近に感じるきっかけになったと思う。（「変わらない」を選択）
- ・溜池公園にはたまに行っているので頻度は変わらないと思うが、トンボ池に何がいるかな、と覗くことは増えそう。（「変わらない」を選択）
- ・もともと割と散歩に行っているので増えはしないが、行った時に湧水やトンボ池を気にして見ると思う。（「変わらない」を選択）
- ・農業園での体験が子どもに好評だったため（「増えそう」を選択）
- ・料理体験が新鮮で楽しんでいたのも、また機会があったらやりたいです。（「増えそう」を選択）

質問③ お子さんは、湧水や農業に興味を持っていましたか？

湧水

かなり	0人	そこそこ	3人	いまいち	2人	全く	0人
-----	----	------	----	------	----	----	----

農業

かなり	3人	そこそこ	2人	いまいち	0人	全く	0人
-----	----	------	----	------	----	----	----

**質問④ 説明方法は、お子さんに合ったものでしたか？**

湧水

かなり	1人	そこそこ	1人	いまいち	3人	全く	0人
-----	----	------	----	------	----	----	----

補足：興味深かったようだが、体力、集中力の面で専門的な言葉は難しくて頭に入りにくかったようである。

農業

かなり	4人	そこそこ	1人	いまいち	0人	全く	0人
-----	----	------	----	------	----	----	----

**質問⑤ 湧水散策と農業体験を組み合わせて行うことで、魅力は上がりましたか？**

- ・ 農業体験を最後に持って来ること、楽しい印象で終わったようである。
- ・ 普段から住んでいる地域だが、新たな一面を見ることができた。
- ・ 散策や体験後に食べた里芋の美味しさは格別だった。子どもにもお芋の美味しさを改めて感じてもらえてよかった。盛りだくさんで、魅力的な探検だったと思う。
- ・ 異なる面白さが体験できたので良かったと感じる。
- ・ 子どもも飽きず、一日を通して楽しんでいたので良かった。

**質問⑥ 改善点等がありましたらご記入をお願いします。**

- ・ スタッフの皆さんが一生懸命魅力を伝えようと尽力してくださり、大変楽しかった。  
強いて改善点を挙げるなら、湧水探検の説明が、小学校低学年には難しいという点。  
また、湧水が流れているのが地下か管内で、実際に水が流れているところをあまり見られないのと、実際に湧き出ている箇所が見られないため、子ども達には湧水を辿っているという実感が得にくいと感じた。途中のマンホールを何箇所か開けられると良いと思う。
- ・ 湧水散策もとてもワクワクした。  
最初に湧水の魅力や必要性について、もう少し理解したかった。

⇒藤田委員から、お子様へのヒアリングを含めてご感想をいただいています。  
次ページ以降に掲載しております。

## 保護者目線での感想

### 良かった点

- ・挨拶や導入が、子どもを意識したゆっくりとした話し方だったのが良かった。
- ・参加する子どもの名前と年齢を把握している様子で、進行がスムーズに感じた。
- ・子どもたちそれぞれが、水質検査や収穫体験、包丁を使う機会とスペースが準備されていたのが良かった。
- ・農業体験では、里芋をふかしている間に落花生の収穫をするなど、待ち時間をうまくつけて退屈させない工夫がされていると思った。
- ・収穫物とレシピのお土産が嬉しい。帰宅後、レシピの親芋ステーキと茹で落花生を作って好評だった。レシピ以外の調理も提案したが、小芋でキヌカツギを希望され、素材や野菜のおいしさをシンプルに味わうことで食育面でもよいと思った。
- ・家庭で食べる時に再度、収穫体験で説明されたことやイベント全般の感想を子どもと話すことができた。
- ・事前の準備から当日の運営まで、課や管轄を超えた調整や連携をされていたことを委員として知ってはいたが、参加者側からみて違和感はなかった。
- ・試行のため、たくさんの職員の方がいて、保護者としては質問できる方が多くて助かった。子どもへのサポートも手厚い感じがした。
- ・写真付きの詳しい配布資料は、説明を聞き逃したところを家で振り返ることができて良い

### 提案など

- ・持参する持ち物に帽子、軍手があってもよかった。
- ・湧水散策と農業体験があるため、歩きやすい靴で行くとともに長靴と着替え、飲食物等、保護者が子どもの分も持って歩くため、荷物が多くなった。植物園がゴールであれば、予め着替え等の荷物を預けて散策できるとよいと思う。
- ・説明→実際にやってみる、という流れの繰り返しは良いと思ったが、子どもには内容がかなり多いと思った。短い時間で設定するか、あの内容であれば、対象年齢をあげてもいいかもしれない。
- ・子どもの集中力と体力を考え、こまめな休憩と質問タイムを設定すると良いと思う。
- ・湧水散策の最後、まとめの話をしてくださったときに、ペットボトルで作った模型（砂利等入れたもの）をみせていただいたが、配布資料の該当箇所にもその模型の写真を掲載すると、実際に見たものとイラストの説明がリンクして、理解度が深まると思う。

- ・親子参加型イベントにするのであれば、イベント参加をきっかけに保護者にも赤塚に興味と知識をもってもらいたい。イベント終了後に家庭でもさりげなく補足を促すような言葉があると、子どもの理解も深まると思う。

どこまで保護者が関わるのか、イベント中は子ども主体で保護者は少し離れて見守るべきなのか、が分かりにくかった。

- ・キヌカツギについて、どんな料理なのか（調理法、名前の由来、食べる時期等）簡単な説明があると、親子ともより印象に残ると思う。

## 参加したお子さんの感想

### 良かった点

- ・トンボ池の昔と今の様子を写真で見られたのは面白かった。（中1）
- ・普段入れないところや、見ることができない場所を見られたのはすごく楽しかった。（中1）
- ・貴重な絶滅危惧種がみられて嬉しかった。（中1）
- ・幸せが訪れる花（キチジョウソウ）を探すのが楽しかった（小5）
- ・知らなかったことを知れてうれしい（小5）
- ・水の pH 実験は普段できない体験で面白かった。専門的な用語や道具は、そういうのが好きな人は喜ぶと思うし、あまり詳しくない人でも「すごいな～」というのはわかる。（中1）
- ・収穫体験は絶対にあった方がいい。イベントの最後に料理までできたのが嬉しかった。（中1）
- ・収穫方法から里芋の切り方など教えてもらい、実際に包丁で一人ずつ切らせてもらったので「自分で出来た！」という感覚を味わえた。（中1）

**提案など** ※よりよいイベントにするために、ということでヒアリングしていただいたということです。

- ・こまめに休憩をとりたい。中1でもきつかったのが、小学校低学年はもっときつかったと思う。（中1）
- ・立ちっぱなしで話を聞き続けるのが辛かった。
- ・知ってほしい事がたくさんあるのはわかるが、**情報量が多くて**疲れた。一つについての話が長かった。説明は短くして、自分が実際に何かをしたり**理解する時間が欲しかった**。（小5）  
例）アメリカザリガニがどんな生き物か少し解説したら、早速見に行きましょう、といった流れにして、もっと知りたい人は資料を見てね、という感じ。
- ・それぞれの説明箇所**で「質問コーナー」**の時間が欲しかった。
- ・トンボ池とのちがいを知るため、溜池のほうもみてみたかった。
- ・生き物捕りは、自分でやっている感がなかった。

- ・「湧水が何か」は、ぼんやりとは分かったが、**言葉が専門的**で子どもには難しかった。最後にまとめの説明をしてもらったが、歩きっぱなしで疲れているのと、情報量が多くて集中力がきれていたのでは、「湧水のすごさ、大切さ」が頭に入りにくかった。
- ・湧水散策は、黒いホースをたどっている感じがちょっと残念だった。ここから水が湧いて始まって、上流から下流へ来るというのを感じたかった。
- ・子どもの中から代表で何かをやる時、「〇〇やりたい人～」と聞いてほしかった。指名されなかったけどしたい子もいるかもしれないし、指名されるのが苦手な子もいるかもしれない。年齢的な理由で危ない等出来ないことがあれば、そう説明してくれれば皆わかると思う。
- ・参加後のアンケートの選択肢「そこそこ」が聞きなれない言葉で、答えにくかった。  
(小中学校で行われるアンケートの選択肢は  
[思う/どちらかと言えば思う/どちらでもない/どちらかと言えば思わない/思わない]といったものが使われる事が多いです。)